



2023年10月27日発行（創刊号）



エクスポ★とうほく花便り

～東北地域国際園芸博覧会連絡会議等メールマガジン～



《トピックス》

1. メールマガジンはじめます！（東北農政局生産部園芸特産課長）
2. 2027年に国際園芸博覧会が日本で開催されます。（公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会）
3. GREEN×EXPO2027「共創キックオフ・ミーティング」が開催されました
4. 2027国際園芸博覧会の会場～旧上瀬谷通信施設ってどんなところ？
5. 東北ぷち情報
6. 編集後記



1. メールマガジンはじめます！ 東北農政局生産部園芸特産課長 千葉芳信



2027年3月から横浜市において、国際園芸博覧会“GREEN×EXPO2027”が開催されます。この国際園芸博覧会には、国内外から多様な参画を含めて1,500万人の来場者が見込まれています。皆様はこの国際園芸博覧会に何をイメージし、何を期待しますか？

ちなみに前回、1990年の大阪「国際花と緑の国際博覧会」の来場者は、約2,313万人で、開催後は、「園芸ブーム」が定着。花きについては産出額、生産面積ともに順調に増加し、平成元年度から10年度にかけて、切り花、鉢ものの類は約2倍、花壇用苗ものの類の作付面積は約10倍に増加した経緯があります。なお、「園芸ブーム」の定着には、大阪花博後、パレット花壇やハンギングバスケット等が緑化手法として広く普及したことや、各種メディアによる「園芸特集」が影響したとも考えられています。

このように、国際園芸博覧会の開催は、花き業界にとどまらず、広く国民生活全体にも好影響をあたえることが期待されます。

東北農政局では、3年半後に迫った国際園芸博覧会に向けて、まずは東北管内の花き関係者の皆様、さらに多くの方々に国際園芸博覧会の存在を知ってもらい、関心をもっていただくことが重要と考え、関係者間での情報共有などを目的として、「東北地域国際園芸博覧会連絡会議」を立ち上げました。

このメールマガジンでは、国際園芸博覧会“GREEN×EXPO2027”や連絡会議に関する情報のほか、花きに関する最新のトピックスも取り上げてまいりますので、皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。



2. 2027 年に国際園芸博覧会(GREEN×EXPO2027)が日本で開催されます



横浜市において A1 クラスの国際園芸博覧会が、大阪花の万博以来37年ぶりに国内開催されます。持続可能な地域・経済の創造や社会的な課題解決に貢献する「新しいグリーン万博」を目指します！

名称:2027年国際園芸博覧会

正式略称:GREEN×EXPO 2027

テーマ:幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～

開催期間:2027 年3月 19 日(金)～ 2027 年9月 26 日(日)

開催場所:旧上瀬谷通信施設(神奈川県横浜市)

詳しくはこちらから↓

◆国際園芸博覧会とは(公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会 HP)

<https://expo2027yokohama.or.jp/about/>



3. GREEN×EXPO 2027「共創キックオフ・ミーティング」が開催されました



公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会は、横浜市及び横浜商工会議所と共催で「GREEN×EXPO 2027「共創キックオフ・ミーティング」を9月 26 日(火)にパシフィコ横浜ノースにて開催しました。GREEN×EXPO 2027 の目指すビジョンや共創の姿を共有するとともに、出展・協賛等に関する参加メニューについて、企業・団体等向けに説明、参画を呼びかけました。

詳しくはこちらから↓

◆[共創キックオフ・ミーティング資料](#)

◆ [アーカイブ動画 - YouTube](#) (1:38:26)



4. 国際園芸博覧会の会場～旧上瀬谷通信施設ってどんなところ？



横浜市は、1859 年に国際港として開港以降、園芸植物の玄関口となり、ユリを代表として数々の植物が海外へ輸出されるとともに、バラやチューリップなどの西洋の花の輸入の先駆けとなるなど、日本の花き貿易の先進地となり、我が国の優れた植物や園芸文化を発信し続けてきました。

「GREEN×EXPO2027」の会場となる旧上瀬谷通信施設は横浜市の郊外部(旭区・瀬谷区)に位置し、2015 年に米軍から返還された約 242ha の広大な土地で、そのうち約 100ha が博覧会区域となります。長年にわたり土地利用が制限されてきたことから、農地や緩やかな起伏の草地など豊かな自然環境が広がり、南北に流れる相沢川、和泉川の源流部、谷戸地形等の貴重な自然資本が残っています。

◆横浜市・旧上瀬谷通信施設について((公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会 HP))

<https://expo2027yokohama.or.jp/about/overview/>



5. 東北ふち情報



福島県の内堀知事は、10 月 20 日横浜市役所で山中市長と会談し、国際園芸博覧会(花博)で復興に関する出展の実現に向けて連携する方針を確認しました。

詳しくはこちら↓

◆[福島県、27 年「花博」で復興の姿発信 出展へ向け横浜市と連携:福島民友ニュース:福島民友新聞社 みんな Net \(minyu-net.com\)](#) ※当リンクは 11 月 30 日までです。



6. 編集後記



花きの担当になってから1年 7 ヶ月。2027 年に横浜市で開催される国際園芸博覧会の仕事にこの段階で携わることができるのは、花きを担当しているおかげだと思います。開催に向けて、まだまだ手探り状態ですが、この園芸博覧会を機に東北の花を全国はもとより世界に紹介し「東北の花っていいね！」ブームを巻き起こしたいものです。メールマガジンでは、出展に向けて、県・市町村・生産者の皆さんのお役に立てるような情報や、東北の花にまつわる情報も発信してまいりますので、ご愛読のほど、どうぞよろしくお願いいたします。ご意見や情報もお待ちしております！ (た)

*本メールマガジンは花の日(8 月 7 日)にちなみ、偶数月の 7 日に発行します。次回は 2023 年 12 月7日発行予定です。



発行:東北農政局生産部園芸特産課花き担当

〒980-0014

宮城県仙台市青葉区本町3丁目3-1

TEL:022-221-6193



◇このメールマガジンについてのご感想・ご意見がある方はこちら↓↓↓

touhoku.flower@maff.go.jp

◇配信停止をご希望される方はこちら↓↓↓

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/tohoku/form/tokusan/231002.html>